

校訓「よく学ぶ子 助け合う子 たくましい子」

(1) 本校の教育目標

- ア よく遊びよく学んで、豊かに個性を伸ばす。 (知)
- イ 人との関わり合いを通して、感謝と思いやりの心を養う。 (徳)
- ウ 健康的な生活を実践して、たくましい心身を育てる。 (体)

(2) 経営方針 ～合言葉は「学校って楽しい」～

- ア 互いを思い合い、笑顔で爽やかな挨拶や返事が行き交う「安心安全で明るい学校」
- イ 子どもたちの「やってみたい」を大切にする「楽しい学校」
- ウ 自分を大切にし、他人を思いやる「互いを認め合う学校」
- エ 学校と家庭や地域がつながる「支え合い応援される学校」

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 子どもたちが主体となって活躍する学級・学年づくり
 - ・特別活動を中心とした子どもが活躍する異学年交流や縦割り活動、各種行事を実践する。
 - ・学年に応じた実行委員制を活用し、子どもたちがよりよい学校生活に向けて自己決定や主体的に活動できる機会を充実させる。
 - ・さまざまな「人・物・事」との出会いや体験活動の場を設定し、自立に必要な能力や学ぶ意味を養うキャリア教育を推進する。
- イ 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - ・子どもたちの「やりたい・知りたい・話したい」を引き出す授業づくりを推進する。
 - ・子どもたちの「分からない」を大切にし、学級全員で考え、解決する授業を目指す。
 - ・教員同士が共に学び合いながら、授業力・指導力の向上を図る。
- ウ 互いに思い合う心の教育の充実
 - ・あらゆる活動を人権教育、道徳教育の視点でとらえ、校区内の保幼小中学校はじめ家庭・地域・関係機関と連携し、自他を尊重する心を育む活動を充実させる。
 - ・特別な教育的支援を必要とする子どもと家庭の理解を深める。必要に応じて関係機関と連携し、子どもと家庭を支える。支援者を増やし、共に支え合って生きる心や態度を育てる。
 - ・毎日の声かけ、日記、遊びへの参加、朱書き、観察などで、子どもと心のキャッチボールをして、安心感・信頼感・満足感・自尊心を高める。
- エ 家庭・地域との連携による教育環境の整備
 - ・専門スタッフやボランティア、関係機関との連携・充実を図り、豊かな体験の場を設定する。
 - ・子どもたちの感謝の思いを地域に還元できる教育活動を展開する。
- オ 教職員の多忙化解消に向けた業務改善
 - ・担当授業時数の削減及び教科担任制の拡充等、業務改善を推進する。
 - ・校務支援システム、ICTのより効果的な活用に取り組む。
 - ・校務分掌や業務内容を見直し、事務効率を上げ、在校時間の縮減を目指す。